

令和4年4月

新年度が始まりました。

市民の皆様におかれましては、教育行政にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。府中市教育委員会では、平成30年に策定しました、府中市教育大綱において、全ての市民の「可能性」と「チャンス」を生かす教育のまちの実現に向けて取組みを進めています。

1. 社会教育の充実、文化財の保存活用

・全ての社会教育施設の ICT 化を進め、いつでも、どこでも、だれでも学べる環境を整備します。

・府中市のシビックプライド(市民の誇り)になる備後国府跡の保存・活用や、恋しき・翁座などの貴重な文化資源の価値保存とともに有効な活用を目指します。

2. 学校教育

・コミュニティ・スクールを核とした小中一貫教育を強力に推進し、指導体制・教育環境の整備、指導力向上をもとにした授業改善、安心して子供たちが学べる支援体制などを充実させ、まち全体で、学習の基盤となる資質・能力である、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力をはじめとする子供たちの資質・能力の育成を図ります。

・府中市独自の小中一貫教科「ことば探究科」の創設や、ICT を効果的に活用した先進的な学びにも挑戦し、創り手となる人材育成に努めます。

来週、4月7日は、多くの学校で入学式・新学期を迎え、子供たちも保護者の皆様も、気持ちも新たに、それぞれの学校生活に臨んでいくことと思います。子供たちにとって、新たな人生の素敵な1ページになるよう、魅力ある学校づくりを進めてまいります。

本年度も、学校・家庭・地域をはじめ、多くの関係機関とも緊密に連携して、本市教育の一層の充実・発展に尽力してまいりますので、市民の皆様方の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

広島県府中市教育委員会教育長 荻野雅裕